

Title	編集後記 奥付
Sub Title	
Author	山部, 徳雄
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1952
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.45, No.5 (1952. 5)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19520501-0069">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19520501-0069</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

### 慶應義塾經濟學會々則

- 第一條 本會は慶應義塾經濟學會 (The Keio Economic Society) と稱する。
- 第二條 本會は經濟學の研究及びその奨励、普及並びに會員相互の親睦を圖ることを目的とする。
- 第三條 本會は前條の目的を達成するため次の事業を行ふ。
  - 一 研究会の開催
  - 二 機關誌「三川學會雜誌」及びその他研究成果の刊行
  - 三 講演會、資料展覽會の開催
  - 四 他の學會及び諸團體との連絡
  - 五 その他本會の目的を達成するため適當と認めらるる事業
- 第四條 本會は慶應義塾大學經濟學部所屬專任者のうち經濟學を專攻する者を以て組織する。
- 第五條 本會に左の役員を置く。
  - 一 會長 一名
  - 二 顧問 若干名
  - 三 委員 若干名
  - 四 監事 二名
- 第六條 會長は慶應義塾大學經濟學部長とする。顧問は會長が依頼する。委員及び監事は總會に於て會員の互選によつて定める。
- 第七條 會長は本會を代表し會務を總理する。顧問は會長の諮問に應ずる。委員は委員會を組織し會務を執行する。監事は會計を監査する。
- 第八條 委員及び監事の任期は二年とする。但し再選を妨げない。
- 第九條 會長は年一回總會を招集する。但し必要に應じ臨時總會を招集することができる。
- 第十條 會員は年額金一千二百圓の會費を納める。
- 第十一條 會員は機關誌「三川學會雜誌」及び其他本會刊行物の配布を受けることができる。
- 第十二條 本會の經費は會費、賛助金、補助金及び其他の收入を以て之に充てる。
- 第十三條 本會の會計年度は毎年四月一日より翌年三月三十一日迄とする。
- 第十四條 本會々則の變更は總會の決議による。
- 第十五條 本會の事務所は慶應義塾經濟學部研究室内に置く。經濟學會委員
  - 藤林敬三 高村象平 平井新
  - 山本登 宇治順一郎 青沼吉松
  - 服部謙太郎 安川正彬 白神俊彦
  - 植木憲二 山部徳雄 片岡一郎
  - 辻村江太郎

### 編集後記

再び戦争の不安が、我々におそいかゝつてきた。戦争というものは、いつの世をみても我々一般のものには餘りかゝわりなく行われ、ゆくものらしい。しかし戦争によつて我々の受ける傷痕は、如何に計り難いものか。

ある人は「現在の戦争を、何千年か後の歴史家は宗教的戦争と規定するであろう」といつた。「人間理性」を謳歌してきた近代人が、再び神秘的、形而上的なものにおいて争うとは。しかし又これが事實であるとすれば、戦争をおこさしめてゐる神秘的なものとは一體何であろうか。形而上的なものを建設しつゝあるとされる所謂「人間理性」による認識體系に對する批判と、國家社會制度というものゝ性格を更に一層深く分析することを要求される所以でもある。近時、理想(型)よりむしろ現実、理解よりむしろ觀察、「認識」よりむしろ體驗であるといわれてゐる所にも通ずるものがある。時代は絶えず移りつゝある。人々は常に新しい問題に直面しつゝ、眞實とは何であるかを求めてゐる。今日ほど鋭い洞察力、厳しい求道精神並びにそれを裏付ける豊富な體驗とを必要としてゐる時はあるまい。

(山部徳雄)

昭和二十七年四月二十五日印刷	昭和三十五年	定價 七拾圓
昭和二十七年五月一日發行	第四十五卷	送料 四圓
	第五號	
東京都港区芝三田豊岡町八	編輯者 高村象平	
發行所 圖書印刷株式會社	印刷所 川口芳太郎	
豫約購讀料	一年分 金八四〇圓(送料共)	
	半々年分 金四二〇圓	
發行所 東京都港区芝三田三丁目	慶應義塾大學經濟學部研究室内	
	慶應義塾經濟學會	